



ひなたっ ぽっ

新年号
Vol.340
(2021.1)

新たな年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、光風園の事業運営につきまして、ご家族の皆様、地域の皆様並びに各関係機関の皆様をはじめ実に多くの皆様に支えていただき、こうして新たな年を迎えられたこと、光風園を代表して心から御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全世界がコロナに始まりコロナで終わった年となりましたが、当園におきましても例外なくコロナに振り回された年となりました。利用者の方が楽しみにしておられる行事や外出は勿論、ご家族との面会や帰省までが自粛となり、大変なご心配とご負担をかけたことと思います。例年のような、ご家族や地域の方々と一緒に楽しむ催し物が出来なかつたことは非常に残念でしたが、職員が様々な制約の下で各ユニットの利用者の方々の特徴に応じて、趣向を凝らした支援や催し物を企画・実施したことが貴重な経験となりました。

今年度は、次期中期経営計画及び令和三年度の事業計画の策定にあたり、過去の経験を活かし、今一度当たり前の生活のありがたみを感じながら、先の見えないコロナ感染症に対応した新しい生活様式に向けて、創意工夫した計画を盛り込んでいきたいと思えます。

また、出雲市においては、障害の重度化、高齢化や「親亡き後」に備え、地域全体で支える仕組みづくりとして「地域生活支援拠点整備事業」がスタートします。当園においても、緊急時の受け入れと対応、体験の機会と場所の提供ができるよう、整備を進めてまいりたいと思えます。

本年は丑年であります。丑年は「我慢(耐える)」という年と言われているように、先を急がず目の前の課題と真摯に向き合い、着実に進め、希望の持てるような令和三年となることを願い、年頭のご挨拶といたします。

園長 別所 文雄



お餅つき

「よいしょー！」威勢の良い声
が訓練棟に響きます。

昨年十二月には餅つきが行われ
ました。コロナの影響で規模を縮小し
ての開催でしたが、各棟の代表で餅をつい
ていただきました。車椅子で参加された方も、杵を手にすると目に力が入り、掛け声とともにしつかりとお餅をつかれていました。最後には、立派な鏡餅が出来上がりました。



医務室から

「新型コロナウイルスについて」

今年の漢字「密」で象徴されるように、昨年は新型コロナウイルス感染症対策が全て！の年となりました。

光風園では、新型コロナウイルス感染症についての予防対策や、感染発生時を想定しガウン着用方法の研修や学習会を実施しました。感染症対策部会で話し合いを重ねて、感染予防対策に努めております。

利用者の方の生活においても、外出を控えたり、行事を縮小したり、またご家族との面会も制限させていただきました。大変ご迷惑をおかけしている毎日ですが、その限られた中で、楽しんで生活して頂く為、支援も工夫しコロナ禍を共に乗り越えようと頑張っているところです。

私たち職員も、三つの密(密閉・密集・密接)を回避しながら感染源を外部から持ち込まない様に努力をしております。

予防の徹底はもちろんです。万が一、感染発生時の備えを行い、速やかな対応が出来るようにしておきたいと思っております。同時に引き続きマスク着用や手洗い、うがい等を通じて、新型コロナウイルスに対処する生活を送る必要があると感じています。

祈願祭
成人祝い式

年が明けた一月、光風園では今年一年の無事を祈願して祈願祭を開きました。

また、一月十五日には成人祝い式を開かせていただきました。成人の仲間入りをされた新成人の皆様、おめでとうございます。

